

今週のコメント

- ・水痘の定点当たり報告数は1.68で、過去5年平均値(1.42)を上回っており、第16週以降、5週連続で増加しています。年齢階級別で見ると、2～3歳が最も多く、46.4%を占めています。
- ・A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の定点当たり報告数は0.95で、過去5年平均値(0.78)を上回っており、第4週以降多い状態が続いています。
- ・腸管出血性大腸菌感染症の報告が3例で、本年の累積報告数は7例となっており、今後も報告数の増加が予想されますので、動向に御注意ください。
- ・麻疹の報告が1例あり、本年の累積報告数は16例となっています。16例の内訳は、男性12例、女性4例で、年齢階級別では、0～9歳が4例、10～19歳が8例、20～29歳が2例、30歳以上が2例です。

今週のトピックス:<後天性免疫不全症候群>

- ・平成20年1月から3月末までの3箇月間に、新たなHIV感染者6名の報告がありました。詳細をトピックスに掲載しています。

発生状況

全数報告の感染症

- ・二類:結核 5例(喀痰塗抹陽性 1例,無症状病原体保有者 なし)
【1月以降の累積報告数 129例(喀痰塗抹陽性 41例,無症状病原体保有者 3例)】
- ・三類:腸管出血大腸菌感染症(O157 VT1VT2, O157 VT2) 3例 【1月以降の累積報告数 7例】
- ・五類:麻疹 1例 【1月以降の累積報告数 16例】

定点報告の主な感染症

(市内定点数 インフルエンザ定点68, 小児科定点41, 眼科定点10, 基幹定点1)

定点	感染症名	定点当たり報告数	報告数
インフルエンザ	インフルエンザ	0.01	1
小児科 (降順5位まで)	感染性胃腸炎	5.90	242
	水痘	1.68	69
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0.95	39
	手足口病	0.32	13
	突発性発しん	0.32	13
眼科	流行性角結膜炎	0.90	9

病原体情報

ありません。

【次ページ以降の主な内容】

発生状況の概況グラフ / 今週のトピックス:<後天性免疫不全症候群>

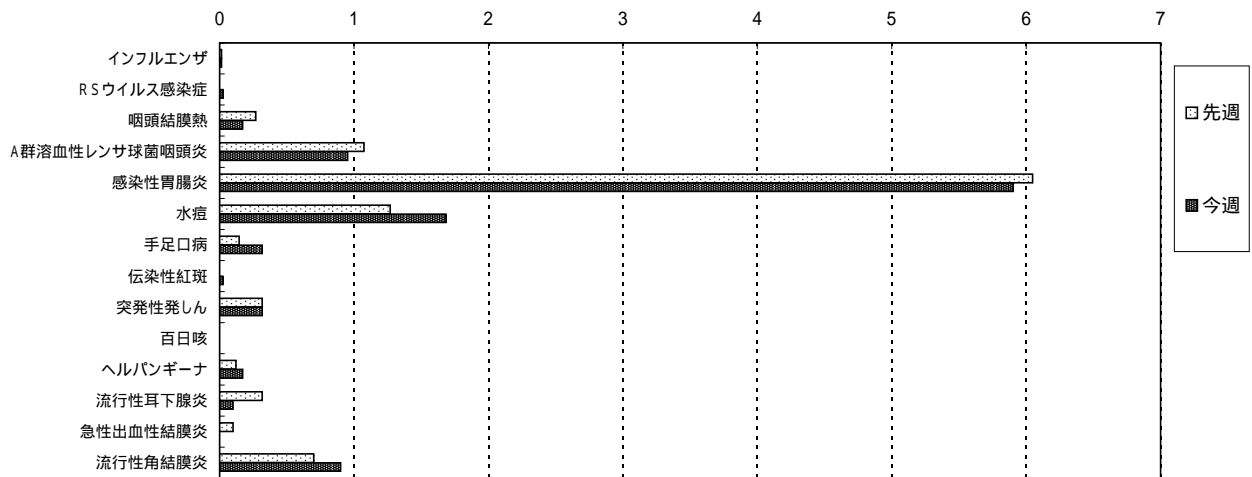
(注)京都市のデータは、平成20年5月26日現在の報告数で、全国の還元データと若干異なる場合があります。

また、本情報での患者数は、届出医療機関所在の保健所での集計で、患者の住所を示すものではありません。

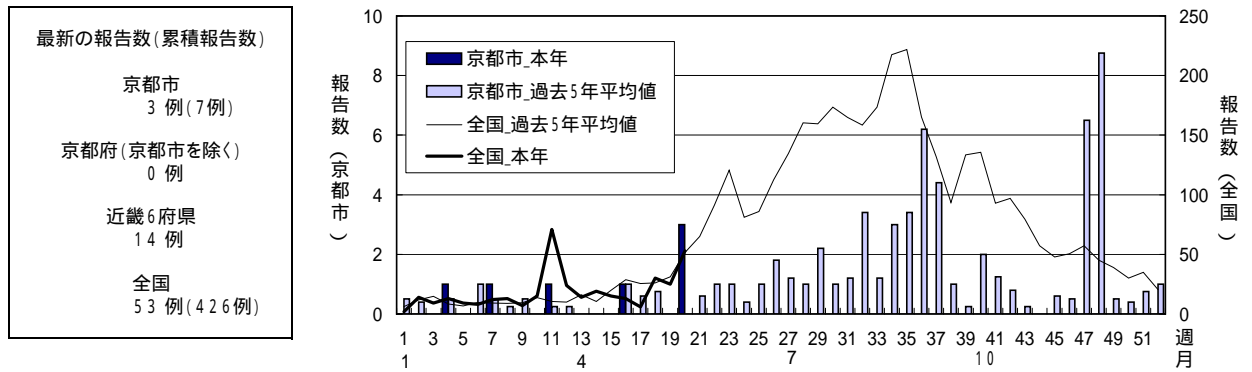
病原体情報は、病原体定点等から京都市衛生公害研究所へ搬入された検体から検出された病原体です。

発生状況の概況グラフ

1 今週(第20週)と先週(第19週)の定点当たり報告数の比較

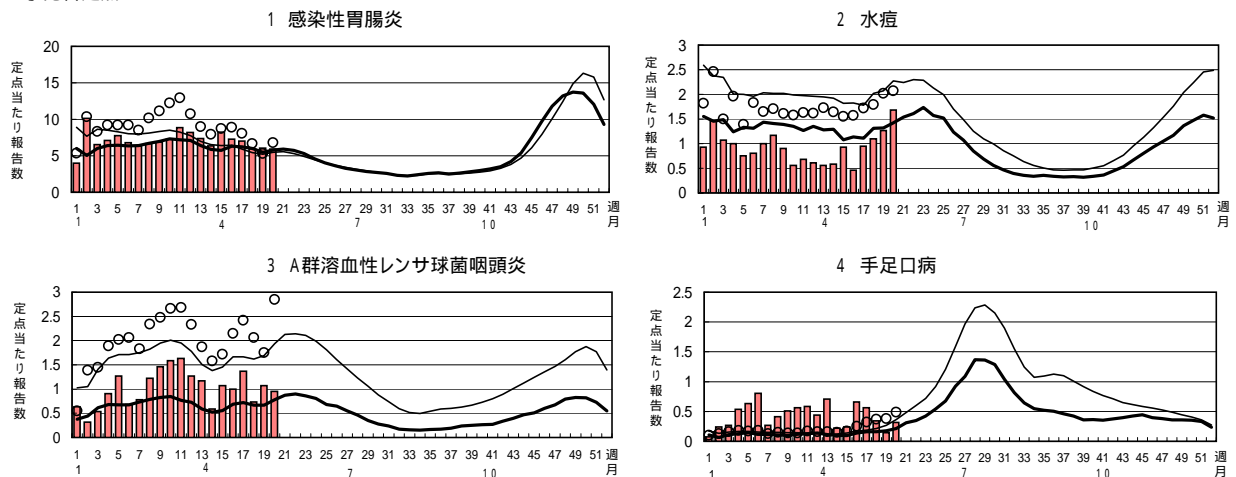


2 腸管出血性大腸菌感染症(三類感染症)の推移

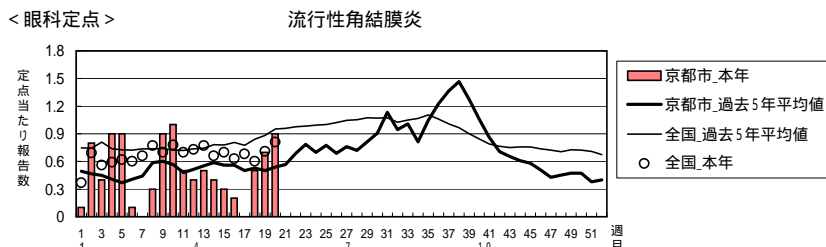


3 主な感染症(小児科)の定点当たり報告数の推移

<小児科定点>



<眼科定点>



今週(第20週)のトピックス: <後天性免疫不全症候群>

平成20年1月から3月末までの集計結果がまとまりました。
 この3箇月間に、京都市では、新たなHIV感染者6例の報告がありました。
 平成11年以降の同時期(1月～3月)と比較すると、このHIV感染者の報告数は、例年より多くなっています。
 なお、昭和62年以降の京都市における累積報告数は、エイズ患者47例、HIV感染者113例です。

今回報告のあった6例は、男性4例、女性2例で、年齢群では20歳代2例、30歳代2例、40歳代2例となっています。

国籍は日本3例、不明3例、推定感染経路は同性間性的接触1例、異性間性的接触1例、静注薬物使用1例、不明3例、推定感染地域は日本国内5例、日本国外(タイ)1例です。

京都市では、性感染症検査も同時に受けることのできる平日昼間検査(予約不要、市内各保健所)、HIV土曜検査(予約制、財団法人京都工場保健会)、夜間HIV即日検査(予約制、下京保健所)を無料で実施しています。

詳細については、<http://www.city.kyoto.lg.jp/hokenfukushi/page/0000034033.html> で御確認ください。

年次別報告数の推移(平成11年～平成20年3月)

報告年	エイズ患者		HIV感染者		計
昭和62年～平成10年	14		26		40
平成11年	2	(0)	3	(0)	5
平成12年	3	(1)	3	(0)	6
平成13年	2	(1)	4	(3)	6
平成14年	4	(3)	5	(1)	9
平成15年	2	(1)	9	(2)	11
平成16年	2	(0)	19	(3)	21
平成17年	3	(1)	6	(1)	9
平成18年	8	(3)	17	(2)	25
平成19年	7	(3)	15	(3)	22
平成20年(～3月)	0	(0)	6	(6)	6
報告数合計	47	(13)	113	(21)	160

()内:1月～3月期の報告数

平成20年1月～3月末までに報告のあったHIV感染者6例の内訳

	男性			女性		計
	20歳代	30歳代	40歳代	20歳代	30歳代	
国籍	日本	1	1	1		3
	不明			1	1	1
推定感染経路	同性間性的接触	1				1
	異性間性的接触				1	1
	静注薬物使用					1
	不明		1	2		3
推定感染地域	日本国内	1	1	2	1	5
	日本国外(タイ)					1